

防災意識に関するアンケート調査結果

調査概要

内容：防災意識・建物内部の地震対策に関する認知について

対象者：建設・建築業界で働く20代～70代男女（n=340）

方法：インターネット（アンケート専用フォームから回答を入力）

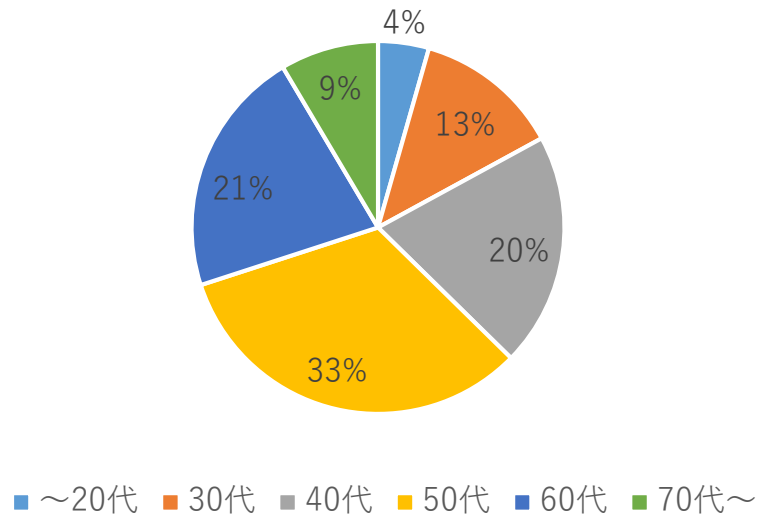
実施時期：2023年3月13日～2023年3月31日

—回答者について—

アンケート回答者について

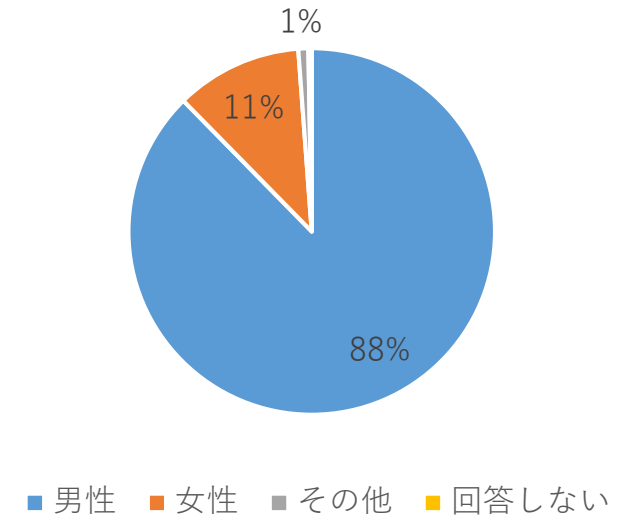
年代

N = 340



性別

N = 340



- 回答者は340名だった。
- 年代別で見ると、1位が50代(33%)、2位が60代(21%)、3位が40代(20%)で、上位3位で70%以上を占めている。最も少なかったのは20代(4%)だった。
- 性別で見ると、男性が88%と大きな割合となっている。

アンケート回答者について

お住まいの地域

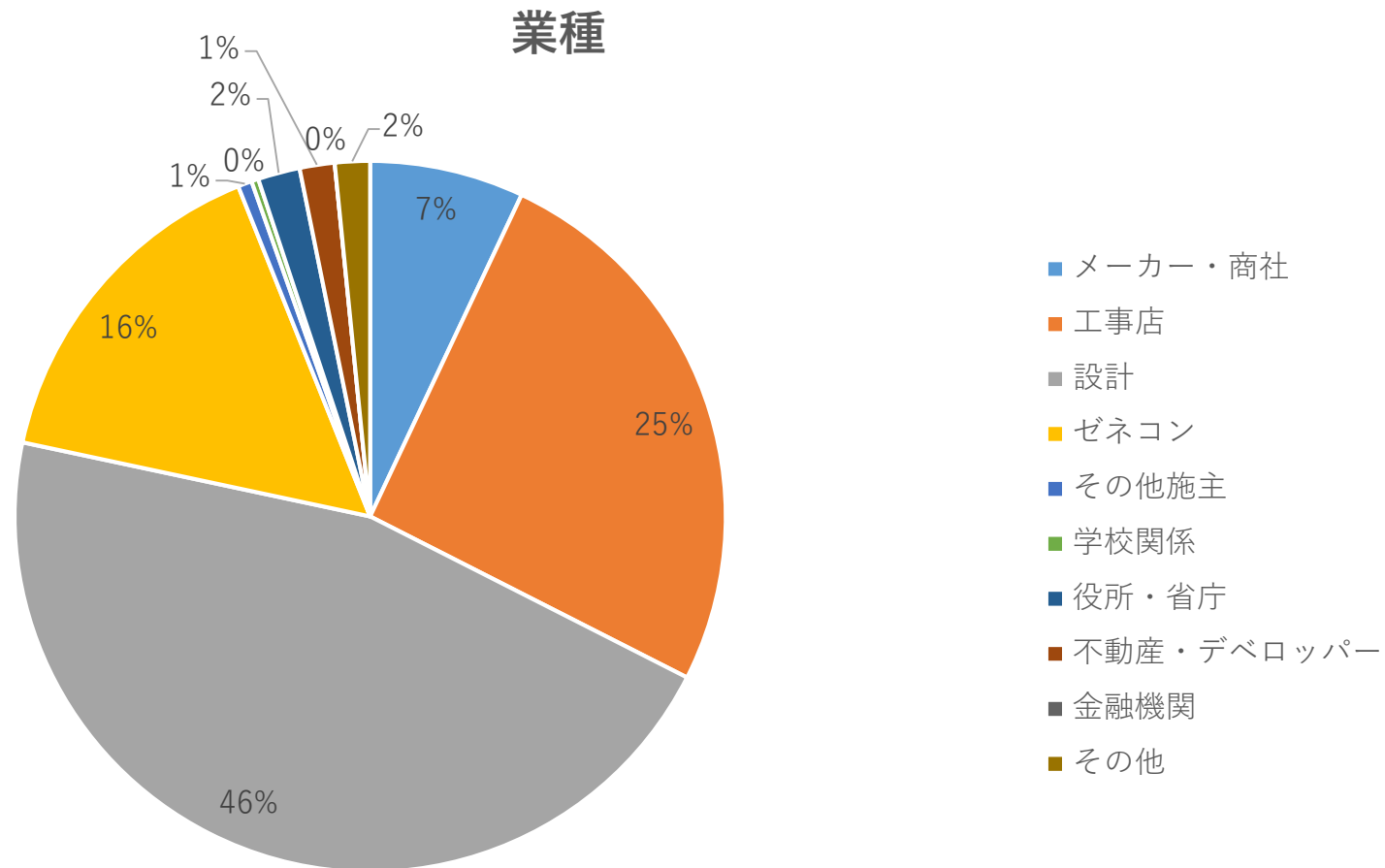
都道府県	回答数(人)	回答割合(%)
北海道	10	2.9
青森県	1	0.3
岩手県	5	1.5
宮城県	8	2.4
秋田県	0	0.0
山形県	4	1.2
福島県	3	0.9
茨城県	5	1.5
栃木県	0	0.0
群馬県	3	0.9
埼玉県	24	7.1
千葉県	18	5.3
東京都	66	19.4
神奈川県	18	5.3
新潟県	3	0.9
富山県	7	2.1
石川県	10	2.9
福井県	1	0.3
山梨県	4	1.2
長野県	5	1.5
岐阜県	5	1.5
静岡県	11	3.2
愛知県	13	3.8
三重県	4	1.2
滋賀県	1	0.3
京都府	9	2.6
大阪府	25	7.4
兵庫県	7	2.1
奈良県	6	1.8

N = 340

和歌山県	3	0.9
鳥取県	1	0.3
島根県	2	0.6
岡山県	4	1.2
広島県	5	1.5
山口県	1	0.3
徳島県	2	0.6
香川県	2	0.6
愛媛県	3	0.9
高知県	3	0.9
福岡県	13	3.8
佐賀県	0	0.0
長崎県	0	0.0
熊本県	1	0.3
大分県	0	0.0
宮崎県	0	0.0
鹿児島県	3	0.9
沖縄県	20	5.9
海外	1	0.3

- 地域別で見ると、東京都が最も多く19.4%、次いで大阪府の7.4%、3番目が埼玉県で7.4%、4番目は沖縄県で5.9%だった。

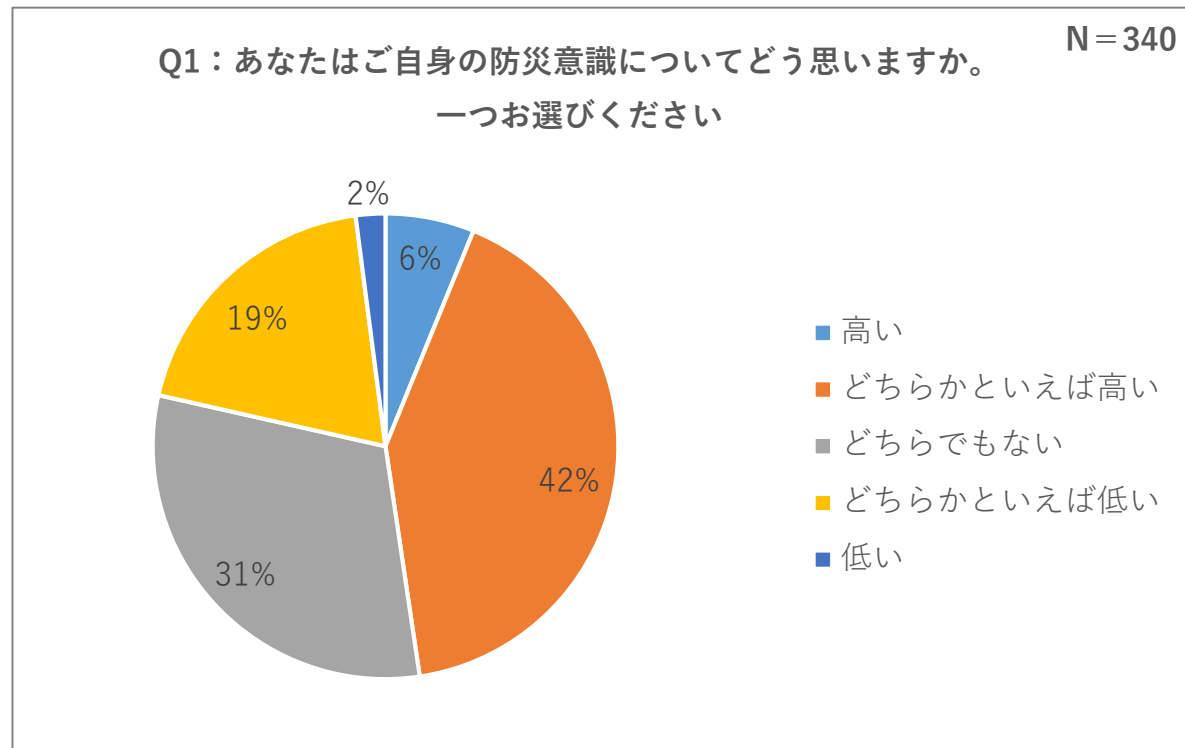
アンケート回答者について



- 業種別で見ると、設計が最も多く46%、次いで工事店が25%、ゼネコンが16%で、建築関係の回答者が約87%をしめた。

—防災意識に関する質問—

—防災意識に関する質問—アンケート結果

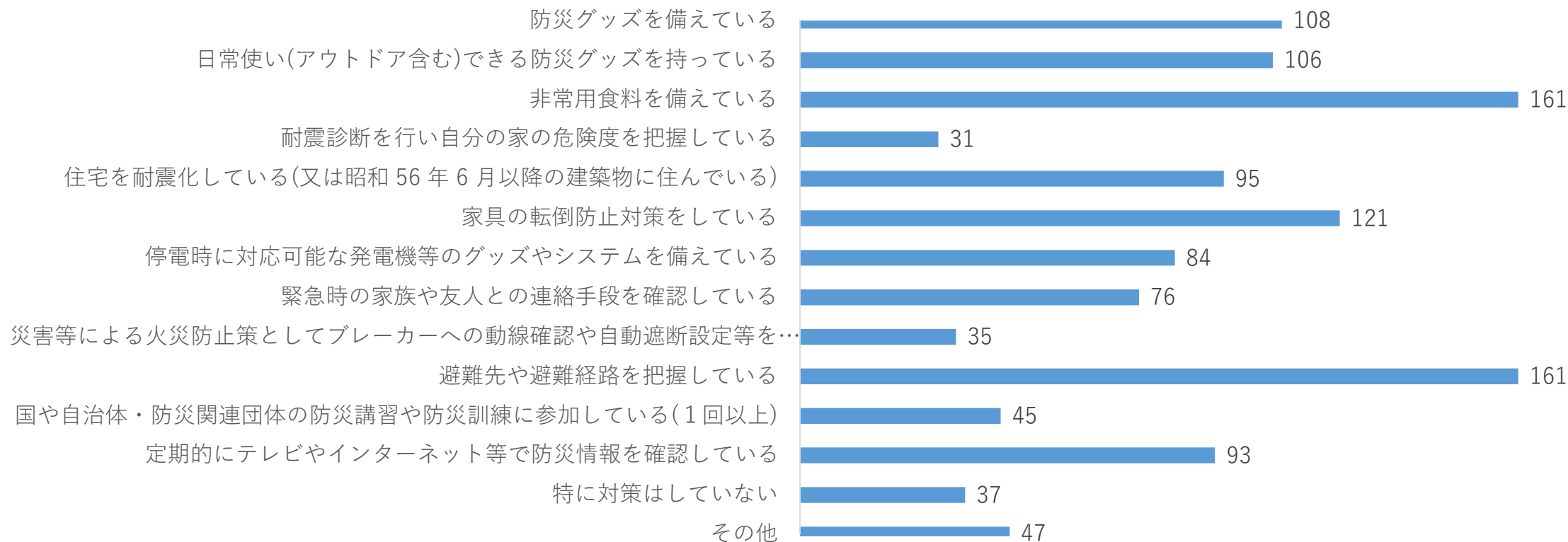


- 「高い」が6%、「どちらかといえば高い」が42%で、意識が高めという回答者が約半数を占めた。
- 一方「どちらかといえば低い」「低い」と回答した人は全体の21%だった。

—防災意識に関する質問—アンケート結果

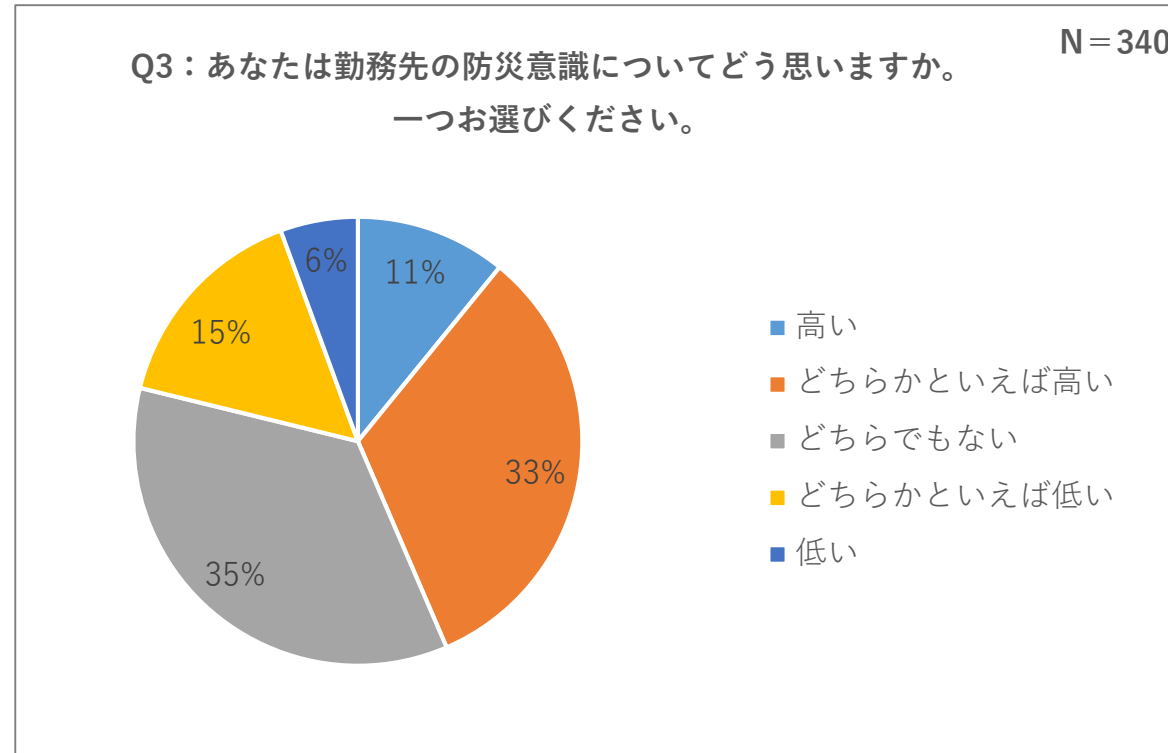
Q2：あなたが個人的に行っている災害対策は何ですか。当てはまるもの全てお選びください。

N = 340



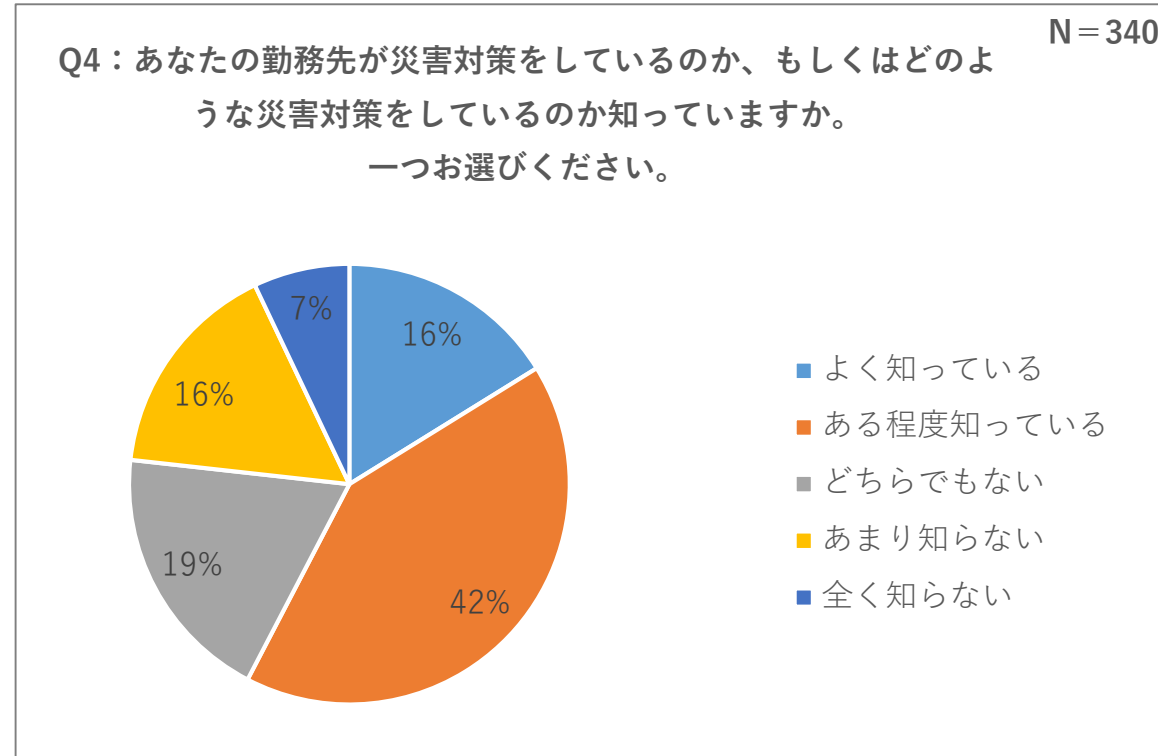
- 「特に対策はしていない」と回答した37名(11%)を除いて、303名(89%)の回答者は何かしらの災害対策を行っていることが分かった。
- 最も多かった回答は「非常用食料を備えている」「避難先や避難経路を把握している」で、それぞれ161名。次いで「家具の転倒防止対策をしている」で121名だった。
- 防災グッズの備えに関しては3分1の回答者が実施しているという結果だった。

アンケート結果



- 勤務先の防災意識については「高い」が11%、「どちらかといえば高い」が33%で、合わせて約44%だった。一方、「どちらかといえば低い」もしくは「低い」と回答したのは約21%。「どちらでもない」が35%だった。

アンケート結果

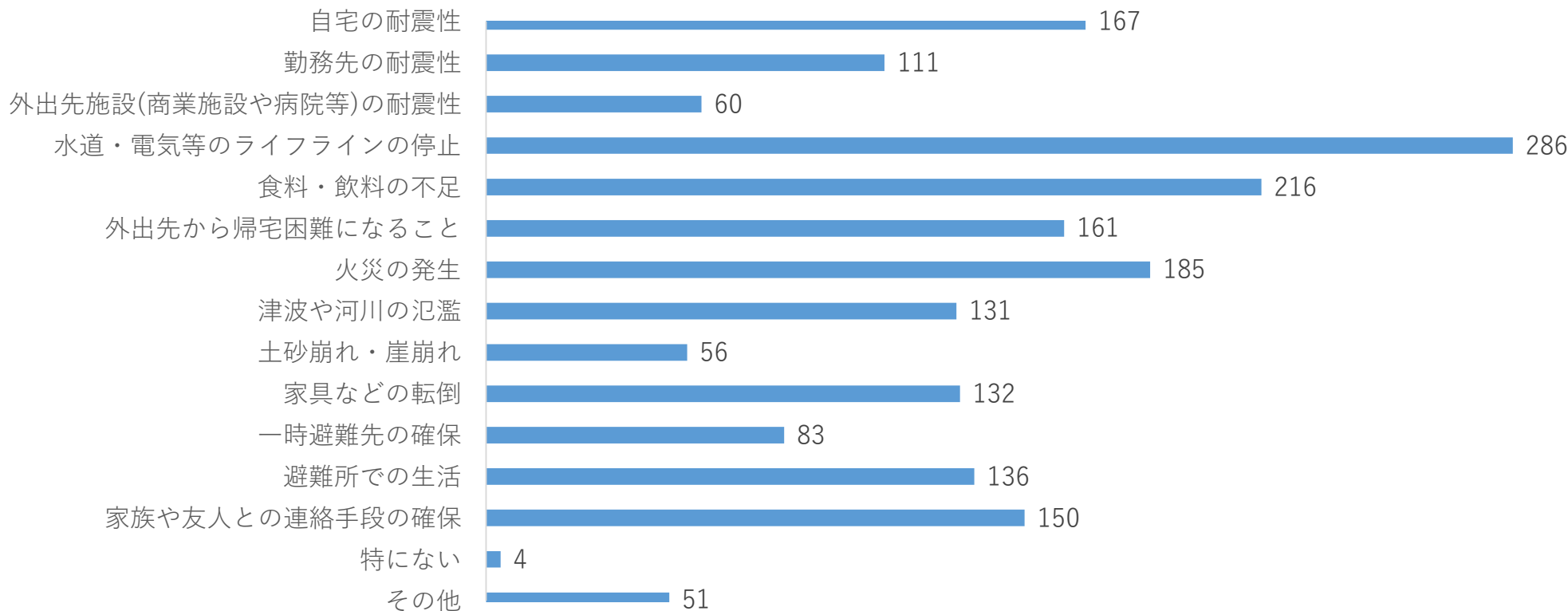


- 勤務先の災害対策については「よく知っている」が16%、「ある程度知っている」が42%で、合わせると約58%。半数以上の回答者は勤務先の災害対策について認識しているという結果になった。
一方、「あまり知らない」が7%、「全く知らない」が7%と、約23%の回答者は勤務先の災害対策をきちんと認識していないことが分かった。

—防災意識に関する質問—アンケート結果

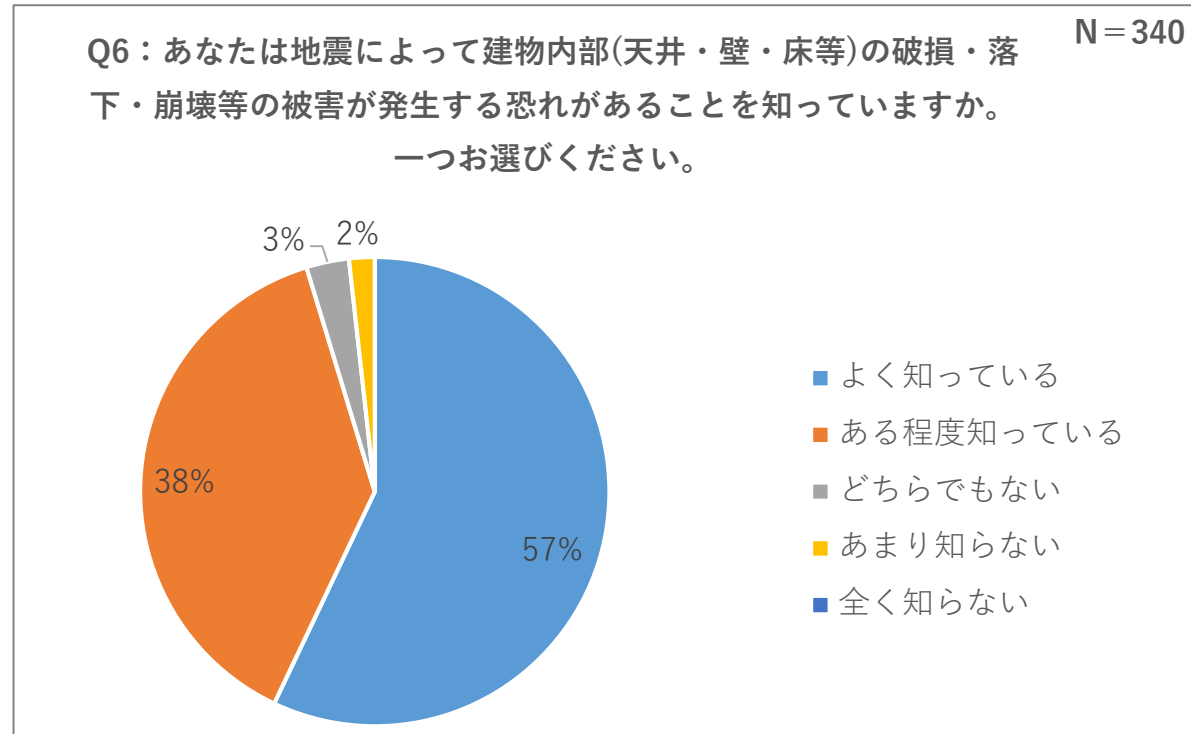
N = 340

Q5：大地震が発生した場合、どのようなリスクや不安を感じていますか。当てはまるもの全てお選びください。



- 回答者の99%が大地震発生時に何かしらの不安を感じると回答した。
- 大地震発生時の不安やリスクに関しては、「水道・電気等のライフラインの停止」が最も多く286名(約84%)の回答者が不安を感じていることが分かった。次いで「食料・飲料の不足」が216名(約64%)だった。生活する上で必要不可欠な要素が不足することへの不安が一番大きいことが分かった。

アンケート結果



- 「地震によって建物内部(天井・壁・床等)の破損・落下・崩壊等の被害が発生する恐れがあることを知っていますか。」という質問については、「よく知っている」が57%、「ある程度知っている」が38%で、約95%の回答者が危険性について認知しているという結果になった。また、「全く知らない」という回答者は0名だった。